

日頃の防災対策が

家族の命を守ります

〜家庭で防災について話し合ひましょう〜

近

年、異常気象や地球温暖化の影響によって、自然災害が地球規模で問題化しています。

今年には『平成24年7月九州北部豪雨』による河川の氾濫や土砂災害によって尊い命が亡くなりました。

また、昨年は、三陸沖を震源とする巨大地震により未曾有の被害をもたらした『東日本大震災』、『平成23年9月台風12号』による紀伊半島豪雨災害』が発生しました。

このように地震や集中豪雨などによる災害が長期にわたって周辺住民に影響を及ぼす事例が増えており、それだけでなく、東海・東南海・南海地震といわれる大規模地震の発生も懸念されています。

「まだ大丈夫だろう」という油断が、時として命を奪つことになりました。災害の発生を止めることはできませんが、事前に防災対策を行っておくことで、被害を軽減させることはできます。

日頃の防災対策が、いざというときあなたの家族の命を守るのです。

災

害時には家族全員が協力することが大切です。家庭で防災について次のようなことを話し合ひてはいいかがでしょうか。

①家族一人ひとりの役割分担を決める

非常持出品を準備する人、ガスの元栓を閉める人など役割分担を決めておくことが大切です。家庭に高齢者や乳幼児がいる場合は、支援の中心となる人を決めておきましょう。

②避難場所や避難経路の確認

安八町では、各地区の集会所や公園（二次避難所）、小学校などの避難収容施設（二次避難所）を避難場所として指定しています。自分の地区の避難所がどこかを確認して、家族がバラバラで避難したことも想定し、避難場所のどの辺りで集合するかまで決めておくことが大切です。

また、実際に避難場所までの経路を確認することも重要です。休日などに家族で避難場所まで歩いて確認しましょう。

③家族の連絡先を確認

家族が離ればなれになったときの連絡先を決めておきましょう。災害時には、携帯電話が使えとは限りません。遠くの親戚や知人のほうが確実に連絡が取れることがあります。また、災害伝言ダイヤルなどのサービスもあります。

※各避難場所は、各家庭に配布した「災害ハザードマップ」や「地震防災マップ」または、安八町ホームページ（<http://www.town.ampachi.gifu.jp>）で確認できます。



非常持出品

ホームセンター